

(Translation of Japanese Patent Laid-Open No. 2004-96442)

[Abstract]

[Problem to be Solved]

To realize a portable information reproducing terminal that excels in convenience, safety and fashionability.

[Solution]

The portable information reproducing terminal provided with operating means for allowing an operation related to reproduction of contents to be performed, contents reproduction means for reproducing the contents, voice output means for outputting voice related to the contents and display means for outputting video related to the contents, wherein an operating device (control device 21) having the operating means placed therein, a device body 1 having the contents reproduction means placed therein and a display device 11 having the display means placed therein are configured by independent housings respectively while connections are made between the device body and the operating device and between the device body and the display device with corded members 40a, 40b, 50a and 50b exposed outside. The device body is configured to be detachable from a first unit (the device body (left side)) 1a and a second unit (the device body (right side)) 1b.

[Selected Drawing] Figure 1

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-96442

(P2004-96442A)

(43) 公開日 平成16年3月25日(2004.3.25)

(51) Int.C1.⁷

H04N 5/64
H04N 5/765
H04R 1/00
H04R 1/10

F I

H04N 5/64 511
H04R 1/00 317
H04R 1/10 104E
H04R 1/10 104Z
H04N 5/91 L

テーマコード(参考)

5C053
5D005
5D017

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号
(22) 出願日特願2002-255058 (P2002-255058)
平成14年8月30日 (2002.8.30)

(71) 出願人

000005821
松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地

(74) 代理人

100093067

弁理士 二瓶 正敬

(72) 発明者

宮澤 哲
神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
松下通信工業株式会社内

(72) 発明者

石川 善都

神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
松下通信工業株式会社内

(72) 発明者

大畠 絵理

神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
松下通信工業株式会社内

最終頁に続く

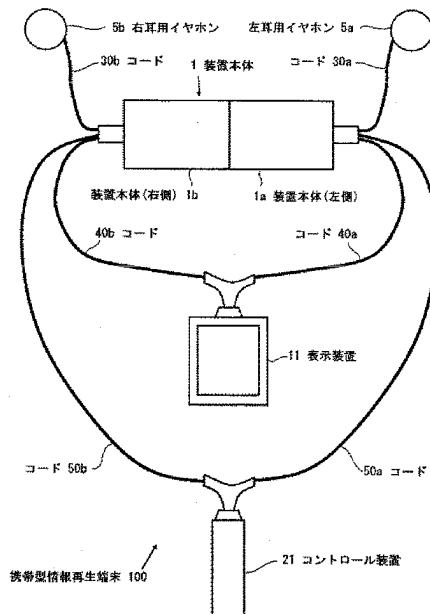
(54) 【発明の名称】携帯型情報再生端末

(57) 【要約】

【課題】利便性、安全性、ファッション性に優れた携帯型情報再生端末を実現する。

【解決手段】携帯型情報再生端末に、コンテンツの再生に係る操作を行うことを可能とする操作手段、コンテンツの再生処理を行うコンテンツ再生手段、コンテンツに係る音声を出力する音声出力手段、コンテンツに係る映像を出力する表示手段を設け、操作手段が配置された操作装置(コントロール装置21)と、コンテンツ再生手段が配置された装置本体1と、表示手段が配置された表示装置11とをそれぞれ独立した筐体で構成し、装置本体と操作装置との間及び装置本体と表示装置との間を、外部に露出した紐状部材40a、40b、50a、50bによって接続する。そして、装置本体が、第1のユニット(装置本体(左側))1a及び第2のユニット(装置本体(右側))1bに着脱可能なように構成する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

映像情報及び音声情報を含むコンテンツの再生が可能な携帯型情報再生端末であって、
前記コンテンツの再生に係る操作を行うことを可能とする操作手段と、
前記コンテンツの再生処理を行うコンテンツ再生手段と、
前記コンテンツに係る音声を出力する音声出力手段と、
前記コンテンツに係る映像を出力する表示手段とを有し、
前記操作手段が配置された操作装置と、前記コンテンツ再生手段が配置された装置本体と
、前記表示手段が配置された表示装置とがそれぞれ独立した筐体によって構成され、前記
装置本体と前記操作装置との間及び前記装置本体と前記表示装置との間が、外部に露出し
た紐状部材によって接続されており、
前記装置本体が、第1のユニット及び第2のユニットに着脱可能なよう構成されている携
帯型情報再生端末。
10

【請求項 2】

前記第1のユニットと前記操作装置との間が第1の紐状部材で接続されており、前記第2
のユニットと前記表示装置との間が第2の紐状部材で接続されており、前記第1のユニット
と前記第2のユニットとが結合された場合には、前記装置本体と前記第1及び第2の紐
状部材とによって輪が形成され、前記第1のユニットと前記第2のユニットとが分離され
た場合には、前記輪が解けるよう構成されている請求項1に記載の携帯型情報再生端末。
20

【請求項 3】

前記第1及び第2の紐状部材の少なくとも一方が、コンテンツの再生に係る信号の伝送が
可能な導体である請求項2に記載の携帯型情報再生端末。

【請求項 4】

前記第1のユニット及び前記第2のユニットのそれぞれの結合面に電気的な接続の接点が
設けられており、前記第1のユニットと前記第2のユニットとが結合された場合には、前
記接点同士が接続することによって前記コンテンツの再生が可能となる請求項1から3の
いずれか1つに記載の携帯型情報再生端末。

【請求項 5】

前記紐状部材が、当該携帯型情報再生端末を装着するユーザの首の後ろ側に前記装置本体
が置かれた場合に前記ユーザの胸の前に前記表示装置及び前記操作装置が吊り下がる長さ
を有する請求項1から4のいずれか1つに記載の携帯型情報再生端末。
30

【請求項 6】

前記装置本体が、当該携帯型情報再生端末を装着するユーザの首の後ろ側に置くのに適し
た形状に形成されている請求項5に記載の携帯型情報再生端末。

【請求項 7】

前記音声出力手段として、1対のイヤホンと骨伝導スピーカとを有しており、前記1対の
イヤホンがコードを介して前記装置本体と接続しており、前記骨伝導スピーカが前記装置
本体に配置されている請求項1から6のいずれか1つに記載の携帯型情報再生端末。

【請求項 8】

前記表示装置に、前記コンテンツの格納されている記憶媒体の挿入及び読み出しが可能な
記憶媒体挿入口が配置されている請求項1から7のいずれか1つに記載の携帯型情報再生
端末。
40

【請求項 9】

所定のコンテンツ配信サーバから配信される前記コンテンツを受信することが可能な通信
手段を有する請求項1から8のいずれか1つに記載の携帯型情報再生端末。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、映像情報（映像コンテンツ）や音声情報（楽曲コンテンツ）を含むコンテンツ
の再生を行うことが可能な携帯型情報再生端末に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、外出先や移動中に映像情報や音声情報を含むコンテンツを再生し、楽しむことを可能とする携帯型情報再生端末が存在する。こうした携帯型情報再生端末は、例えば、所定の挿入口に挿入された可搬性記憶媒体（外部メモリ）からMP3データなどの音声情報、映像と音声の両方を含むMPEGデータなどの動画音声情報を読み出し、イヤホンから音声を出力したり、所定の表示画面上に映像を表示したりすることが可能である。なお、上記の携帯型情報再生端末は、コンテンツ再生専用端末として実現可能であることに加え、携帯電話機やPDAなどによって実現可能である。

【0003】

10

また、特開2002-41072号公報には、形状に特徴を有し、使用時の収容場所を不要とすることを目的とする携帯型再生機器（携帯型情報再生端末）が開示されている。図7は、従来の技術に係る特開2002-41072号公報に開示されている携帯型再生機器の正面図である。

【0004】

図7に示すように、特開2002-41072号公報に開示されている携帯型再生機器200は、楽曲データの記憶されたメモリカードが収容される機器本体201を有している。この機器本体201の下部左右のそれぞれには、コード付きアーム202、203の一部が接続されており、これらの2本のコード付きアーム202、203の他端部には、キー操作部204及び表示部205が設けられている。また、機器本体201の上部左右のそれぞれには、イヤホン208、209が設けられたイヤホンコード206、207が接続されている。

20

【0005】

この携帯型再生機器200を使用する場合、機器本体201を首の後ろに置き、2本のコード付きアーム202、203をキー操作部204及び表示部205と共に首の両側から胸の前に垂らし、2本のイヤホンコード206、207を首の両側から各耳側に延ばして各イヤホン208、209を各耳に取り付ける。これにより、機器本体201を鞄の中や衣服のポケットに収容する必要はなくなり、機器本体201の収容場所を不要にすることができる。

【0006】

30

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、特開2002-41072号公報に開示されている携帯型情報再生端末では、装着時に機器本体を頭の上を通して首の後ろに持っていく必要があり、装着が面倒である。また、装着時には、キー操作部や表示部がコード付きアームと共に垂れ下がることになり、装着しているユーザが激しい動作をした場合などには、キー操作部や表示部が大きく揺れて邪魔になることがある。また、さらに激しい動作をしたり、身体の姿勢を変えたりした場合には、キー操作部や表示部が身体の後ろ側に回ってしまい、肩にかけているコード付きアームや首の後ろに装着している機器本体が外れ、最悪の場合には、機器本体が地面に落下して壊れてしまう可能性がある。

【0007】

40

また、装着時に、別のメモリカードに記憶されているコンテンツを再生する場合、目の届かない首の後ろに装着されている機器本体に手を伸ばして、手探りでメモリカードの交換を行うか、機器本体を首からいったん取り外してメモリカードを交換し、再装着する必要がある。また、特開2002-41072号公報に開示されている携帯型再生機器を含む従来の携帯型情報再生端末は、自分で映像や音楽などのコンテンツを楽しむことを主な目的とするものであり、ユーザの自己顯示欲を満たすファンクション性を追求しているものではなかった。

【0008】

本発明は、上記課題に鑑み、簡単に装脱着を可能とする、当該携帯型情報再生端末の落下を防止する、他人の目を引きユーザの自己顯示欲を満足させるなど、利便性、安全性、フ

50

アッショナリティに優れた携帯型情報再生端末を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の携帯型情報再生端末は、映像情報及び音声情報を含むコンテンツの再生が可能な携帯型情報再生端末であって、コンテンツの再生に係る操作を行うことを可能とする操作手段と、コンテンツの再生処理を行うコンテンツ再生手段と、コンテンツに係る音声を出力する音声出力手段と、コンテンツに係る映像を出力する表示手段とを有し、操作手段が配置された操作装置と、コンテンツ再生手段が配置された装置本体と、表示手段が配置された表示装置とがそれぞれ独立した筐体によって構成され、装置本体と操作装置との間及び装置本体と表示装置との間が、外部に露出した紐状部材によって接続されており、装置本体が、第1のユニット及び第2のユニットに着脱可能なよう構成されている。
10

この構成により、第1のユニットと第2のユニットの着脱（結合・分離）を行うことが可能となり、例えば、装置本体を首の後ろ側におく場合などの当該携帯型情報再生端末の装着動作が容易となる。

【0010】

さらに、本発明は、上記発明において、第1のユニットと操作装置との間が第1の紐状部材で接続されており、第2のユニットと表示装置との間が第2の紐状部材で接続されており、第1のユニットと第2のユニットとが結合された場合には、装置本体と第1及び第2の紐状部材とによって輪が形成され、第1のユニットと第2のユニットとが分離された場合には、輪が解けるよう構成されている。この構成により、例えば、当該携帯型情報再生端末をネックレスのようにして装着する場合、装置本体と第1及び第2の紐状部材とにより形成される輪の中に首が入るように、第1のユニットと第2のユニットの着脱を行うことによって、当該携帯型情報再生端末の装着が容易となる。
20

【0011】

さらに、本発明は、上記発明において、第1及び第2の紐状部材の少なくとも一方が、コンテンツの再生に係る信号の伝送が可能な導体であるよう構成されている。

この構成により、例えば、紐状部材として導電体コードなどを利用し、表示装置や操作装置と装置本体とを電気的に接続することが可能となる。

【0012】

さらに、本発明は、上記発明において、第1のユニット及び第2のユニットのそれぞれの結合面に電気的な接続の接点が設けられており、第1のユニットと第2のユニットとが結合された場合には、接点同士が接続することによってコンテンツの再生が可能となるよう構成されている。
30

この構成により、第1のユニットと第2のユニットとが結合している状態のときのみ、当該携帯型情報再生端末によるコンテンツの再生ができるようにすることも可能である。

【0013】

さらに、本発明は、上記発明において、紐状部材が、当該携帯型情報再生端末を装着するユーザの首の後ろ側に装置本体が置かれた場合にユーザの胸の前に表示装置及び操作装置が吊り下がる長さを有するよう構成されている。
40

この構成により、例えば、装置本体を首の後ろ側においていた場合に、表示装置や操作装置が、持ち運びに適した位置に配置されるようにすることが可能となる。また、胸の前にある表示装置で映像を表示することにより、周囲の人々の目を引きつけることが可能となる。

【0014】

さらに、本発明は、上記発明において、装置本体が、当該携帯型情報再生端末を装着するユーザの首の後ろ側に置くのに適した形状に形成されている。

この構成により、例えば、装置本体を首の後ろ側においていた場合に、首にかかる負担を和らげることが可能となる。

【0015】

さらに、本発明は、上記発明において、音声出力手段として、1対のイヤホンと骨伝導ス 50

ピーカとを有しており、1対のイヤホンがコードを介して装置本体と接続しており、骨伝導スピーカが装置本体に配置されている。

この構成により、コンテンツに係る音声品質（音質）を向上させることが可能となり、特に、低音の品質を向上させることが可能となる。

【0016】

さらに、本発明は、上記発明において、表示装置に、コンテンツの格納されている記憶媒体の挿入及び読み出しが可能な記憶媒体挿入口が配置されている。

この構成により、例えば、装置本体を首の後ろ側から外すことなく記憶媒体の交換が容易となる。

【0017】

10

さらに、本発明は、上記発明において、所定のコンテンツ配信サーバから配信されるコンテンツを受信することが可能な通信手段を有している。

この構成により、インターネットや所定のネットワークを介してコンテンツを受信し、受信したコンテンツを再生することが可能となる。

【0018】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照しながら、本発明の携帯型情報再生端末に係る実施の形態について説明する。図1は、本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末を示す正面図である。図1に示す携帯型情報再生端末100は、装置本体（左側）1aと装置本体（右側）1bからなる装置本体1、ユーザの耳に装着することが可能な左耳用イヤホン5a及び右耳用イヤホン5b、映像を表示することが可能な表示装置11、当該携帯型情報再生端末100の操作を行うことを可能とするコントロール装置21、左耳用イヤホン5a及び右耳用イヤホン5bと装置本体1とを接続し、装置本体1から左耳用イヤホン5a及び右耳用イヤホン5bに出力音声に係る音声信号を供給可能とするコード30a、30b、表示装置11と装置本体1とを接続し、表示装置11で表示される映像に係る映像信号やその他の信号を伝送したり、表示装置11で必要な電力を供給したりすることを可能とするコード40a、40b、コントロール装置21と装置本体1とを接続し、当該携帯型情報再生端末100の動作を操作するための操作信号やその他の信号を伝送したり、コントロール装置21で必要な電力を供給したりすることを可能とするコード50a、50bにより構成されている。なお、例えば、表示装置11とコントロール装置21とを一体化することも可能である。

20

30

【0019】

なお、コード30a、30b、40a、40b、50a、50bは、それぞれ装置本体1、表示装置11、コントロール装置21などに収容可能とし、使用時に延伸できるようにすることが可能である。また、コード30a、30bは、使用時にユーザの耳にまで十分届く長さとし、コード40aとコード40b、コード50aとコード50bは、それぞれ略等しい長さとして、正面から見て略左右対称となるようにすることが好ましい。また、コード40a、40bは、表示装置11に重さを十分に支持し、コード50a、50bは、コントロール装置21の重さを十分に支持できることが好ましい。

【0020】

40

また、図6は、本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末を装着したユーザの模式図であり、図6（a）は、本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末を装着したユーザの正面図、図6（b）は、本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末を装着したユーザの右側面図である。図6に示すように、ユーザは、装置本体1を首の後ろに置き、表示装置11とコントロール装置21を胸の前に吊り下げられるようにして、携帯型情報再生端末100を装着する。すなわち、装着時には、コード40a、40bと装置本体1とが形成する輪、及び、コード50a、50bと装置本体1とが形成する輪の中に、ユーザの頭が入った状態となる。また、表示装置11は、ユーザの身体の前方に表示画面が向くよう装着されることが好ましい。

【0021】

50

次に、図1に示す携帯型情報再生端末100の装置本体1、表示装置11、コントロール装置21について説明する。図2は、本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末の装置本体の断面図であり、図2(a)は装置本体(左側)と装置本体(右側)とが分離している状態を示す図、図2(b)は装置本体(左側)と装置本体(右側)とが結合している状態を示す図である。なお、図2は、図1に示す携帯型情報再生端末100の平面図であり、図2の下側がユーザの首と接触する部分となる。

【0022】

図2に示す装置本体1は、装置本体(左側)1a及び装置本体(右側)1bの2つのユニットにより構成されている。また、装置本体1は、その内部に、所定のコンテンツ配信サーバ80(図5に図示)からコンテンツを受信可能とする通信手段2、主な制御を行ったり、映像情報や音声情報のデコード処理を行ったりすることが可能なCPU3、動作や制御のプログラムを格納したり、コンテンツやその他の情報を一時的に格納したりすることが可能なメモリ4、コード30a、30b(図2では不図示)が延伸することによってユーザの耳に取り付けることが可能な音声出力を行う左耳用イヤホン5a及び右耳用イヤホン5b、出力音声の振動を頭骨に与えて聴覚神経に音声を伝送することが可能な骨伝導スピーカ6a、6b、必要に応じて各手段に電力を供給することが可能なバッテリ7、装置本体(左側)1aと装置本体(右側)1bとを電気的に接続し、信号や電力などの通り道を形成する接点8a、8b、装置本体(左側)1aと装置本体(右側)1bとを物理的に結合することが可能な磁石9a、9bを有している。なお、左耳用イヤホン5a及び右耳用イヤホン5bや骨伝導スピーカ6a、6bなどは、左右対称に配置する必要があるが、通信手段2、CPU3、メモリ4、バッテリ7などは任意の位置に配置することが可能であり、装置本体(左側)1a及び装置本体(右側)1bのどちらに配置することも可能である。

【0023】

図2(a)に示すように、装置本体(左側)1a及び装置本体(右側)1bはそれぞれ分離、独立しているが、図2(b)に示すように、磁石9a、9bの磁力によって、装置本体(左側)1aと装置本体(右側)1bとを結合させることが可能である。なお、装置本体(左側)1aと装置本体(右側)1bとの結合力は、装着しているユーザが激しい動作をした場合でも、結合状態を維持できる程度の強さであることが好ましい。また、磁石9a、9b以外にも、例えば、フックや嵌合可能な部材を用いて、装置本体(左側)1aと装置本体(右側)1bとを結合することも可能である。

【0024】

ユーザが、携帯型情報再生端末100の装置本体1を首の後ろに装着する場合、装置本体(左側)1aを左手に持ち、装置本体(右側)1bを右手に持って、両手を首の後ろに持つて、磁石9aと磁石9bとを吸着させて、装置本体(左側)1aと装置本体(右側)1bとを結合する。これは、ネックレスなどの装飾品を装着する場合と同様であり、簡単に携帯型情報再生端末100を装着することが可能となる。

【0025】

また、装着本体1において、装着時にユーザの首の後ろに接触する部分の形状を、首の形に合わせて湾曲させた凹形状とすることが好ましい。また、首への負担を軽くするため、首との接触部分にクッションなどを設けることも可能である。

【0026】

また、図3は、本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末の表示装置の模式図であり、図3(a)は、本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末の表示装置の正面図、図3(b)は、本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末の表示装置の右側面図である。図3に示す表示装置11は、映像の表示を行うための表示手段(LCD)12、外部メモリ(可搬性記憶媒体)14の挿入を可能とし、外部メモリ14に格納されている情報の読み出しを行う外部メモリスロット(外部メモリ挿入口)13を有している。

【0027】

また、図4は、本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末のコントロール装置の模式図で

あり、図4 (a) は、本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末のコントロール装置の正面図、図4 (b) は、本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末のコントロール装置の右側面図である。図4に示すコントロール装置21は、携帯型情報再生端末100の状態(再生、一時停止、早送り、巻き戻しなどの動作状態やモード状態など)を光で通知するためのステータス表示LED22、携帯型情報再生端末の操作を行うための操作スイッチ23を有している。

【0028】

次に、図1～図4及び図5を参照しながら、本発明の携帯型情報再生端末100の動作について説明する。図5は、本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末の内部構成を示すブロック図である。図5に示されている手段はすべて、図1～図4を用いてすでに説明しているので、詳細な説明は省略する。
10

【0029】

携帯型情報再生端末を装着したユーザは、コントロール装置21の操作スイッチ23を操作することによって、表示装置11の外部メモリスロット12に挿入された外部メモリ14内の所望のコンテンツを読み出すか、又は、通信手段2を介してコンテンツ配信サーバ80から所望のコンテンツを受信する。このようにして取得されたコンテンツはCPU3に供給されて、CPU3によって音声処理又は画像処理が行われる。処理後の音声信号は、左耳用イヤホン5a、右耳用イヤホン5b、骨伝導スピーカ6a、6bに対して適切に供給され、各音声出力手段において音声出力が行われる。一方、処理後の画像信号は、表示装置11に供給され、表示手段12を用いて表示される。
20

【0030】

また、操作スイッチからの指示によって、早送り再生や逆再生などの特殊再生や、楽曲や映像番組の頭出し、再生の一時停止などをを行うことも可能であり、こうした動作の状態、モードの状態(例えば、通信手段2を介して取得したコンテンツの再生モードや、外部メモリ14内のコンテンツの再生モードなど)を、ステータス表示LED22を用いて示すことも可能である。

【0031】

また、接点8aと接点8bを電気的なスイッチとして利用し、携帯型情報再生端末100の装着時に、装置本体(左側)1aと装置本体(右側)1bとを結合し、接点8aと接点8bが電気的に接続された場合にのみ、装置本体(左側)1aと装置本体(右側)1bとの電気回路や電力供給線などが繋がり、携帯型情報再生端末がコンテンツの再生を行えるようにすることも可能である。なお、この場合、コード40a、40bやコード50a、50bは、略左右対称なコードのどちらか一方のみ電気信号や電力を流すことが可能なコードとすればよい。
30

【0032】

一方、接点8aや接点8bを設けず、装置本体(左側)1aと装置本体(右側)1bとが磁石9a、9bを用いた結合箇所で電気的に接続しないようにすることも可能である。なお、この場合、コード40a、40bやコード50a、50bは、略左右対称なコードの両方とも電気信号や電力を流すことが可能なコードとする必要がある。また、この場合には、装置本体(左側)1aと装置本体(右側)1bとを結合しなくても、携帯型情報再生端末100はコンテンツの再生動作を行うことが可能となる。
40

【0033】

また、さらに、装置本体と表示装置11との間、装置本体1とコントロール装置21との間、装置本体(左側)1aと装置本体(右側)1bとの間をそれぞれ無線通信によって接続することも可能である。また、各装置又はユニットがバッテリを保持することも可能である。この場合には、コード40a、40b、50a、50bに、コンテンツの再生に係る信号や電力を伝送できない部材を利用することができる。

【0034】

また、胸の前に吊り下がる表示装置11は、ユーザの身体の前方に表示画面である表示手段12が向くよう装着されることが好ましい。これによって、例えば、携帯型情報再生端
50

末100を装着しているユーザの周辺に居る者が、表示手段12に表示されている映像を見ることが可能となり、携帯型情報再生端末100を装着しているユーザは、自分が聞いている楽曲に係る映像や自分の好きな映像などを第3者に見せることが可能となる。また、例えば、表示手段12に表示される映像を、衣服のデザインや色などとコーディネートすることにより、表示手段12に表示されている映像をファンションとして取り入れることも可能である。また、例えば、広告に係る映像を表示手段12に表示することにより、携帯型情報再生端末100を装着しているユーザが、移動広告塔としての役割を果たせるようにすることも可能である。

【0035】

【発明の効果】

以上、説明したように、本発明によれば、コンテンツの再生に係る操作を行うことを可能とする操作手段と、コンテンツの再生処理を行うコンテンツ再生手段と、コンテンツに係る音声を出力する音声出力手段と、コンテンツに係る映像を出力する表示手段とを有し、操作手段が配置された操作装置と、コンテンツ再生手段が配置された装置本体と、表示手段が配置された表示装置とがそれぞれ独立した筐体によって構成され、装置本体と操作装置との間及び装置本体と表示装置との間が、外部に露出した紐状部材によって接続されており、装置本体が、第1のユニット及び第2のユニットに着脱可能なように携帯型情報再生端末を構成するので、簡単に装脱着を可能とする、当該携帯型情報再生端末の落下を防止する、他人の目を引きユーザの自己顯示欲を満足させるなど、利便性、安全性、ファンション性に優れた携帯型情報再生端末を実現することが可能となる。

10

20

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末を示す正面図

【図2】本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末の装置本体の断面図

(a) 装置本体(左側)と装置本体(右側)とが分離している状態を示す図

(b) 装置本体(左側)と装置本体(右側)とが結合している状態を示す図

【図3】本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末の表示装置の模式図

(a) 本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末の表示装置の正面図

(b) 本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末の表示装置の右側面図

【図4】本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末のコントロール装置の模式図

30

(a) 本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末のコントロール装置の正面図

(b) 本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末のコントロール装置の右側面図

【図5】本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末の内部構成を示すブロック図

【図6】本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末を装着したユーザの模式図

(a) 本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末を装着したユーザの正面図

(b) 本発明の実施の形態の携帯型情報再生端末を装着したユーザの右側面図

【図7】従来の技術に係る特開2002-41072号公報に開示されている携帯型再生機器の正面図

【符号の説明】

1 装置本体

40

1 a 装置本体(左側) (第1のユニット)

1 b 装置本体(右側) (第2のユニット)

2 通信手段

3 C P U (コンテンツ再生手段)

4 メモリ

5 a 左耳用イヤホン

5 b 右耳用イヤホン

6 a, 6 b 骨伝導スピーカ

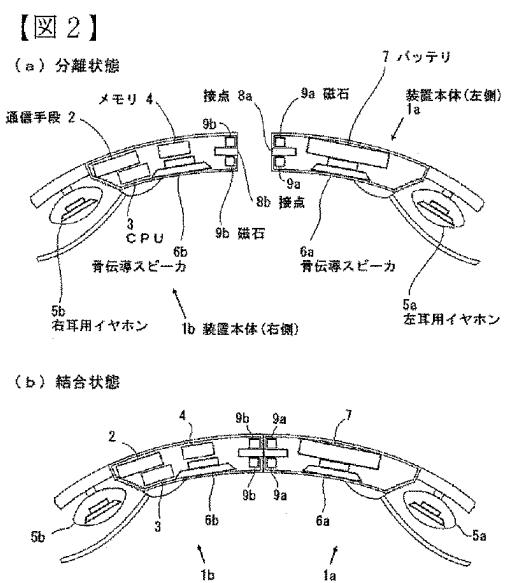
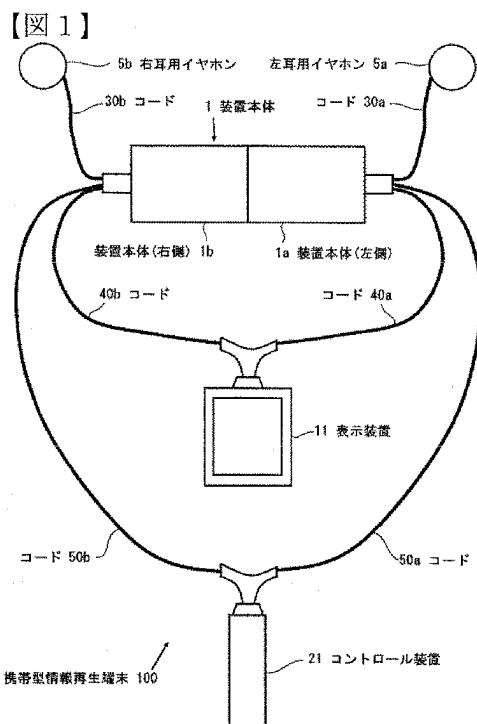
7 バッテリ

8 a, 8 b 接点

9 a, 9 b 磁石

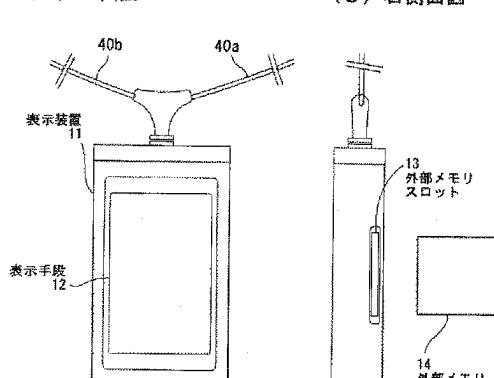
50

1 1 表示装置
 1 2 表示手段 (LCD)
 1 3 外部メモリスロット (可搬性記憶媒体挿入口、外部メモリ挿入口)
 1 4 外部メモリ (可搬性記憶媒体)
 2 1 コントロール装置 (操作装置)
 2 2 ステータス表示LED
 2 3 操作手段 (操作スイッチ)
 3 0 a、3 0 b コード
 4 0 a、4 0 b、5 0 a、5 0 b コード (紐状部材)
 8 0 コンテンツ配信サーバ 10
 1 0 0 携帯型情報再生端末
 2 0 0 携帯型再生機器 (携帯型情報再生端末)
 2 0 1 機器本体
 2 0 2、2 0 3 コード付きアーム
 2 0 4 キー操作部
 2 0 5 表示部
 2 0 6、2 0 7 イヤホンコード
 2 0 8、2 0 9 イヤホン

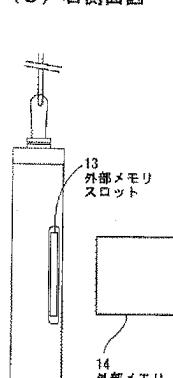


【図3】

(a)正面図

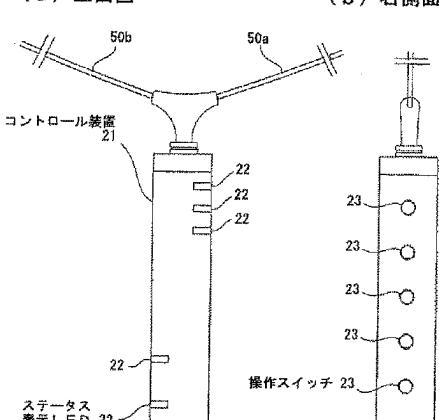


(b)右側面図

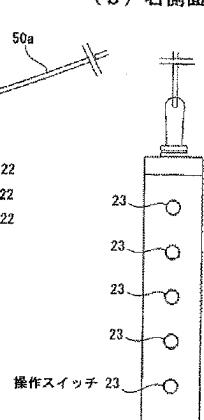


【図4】

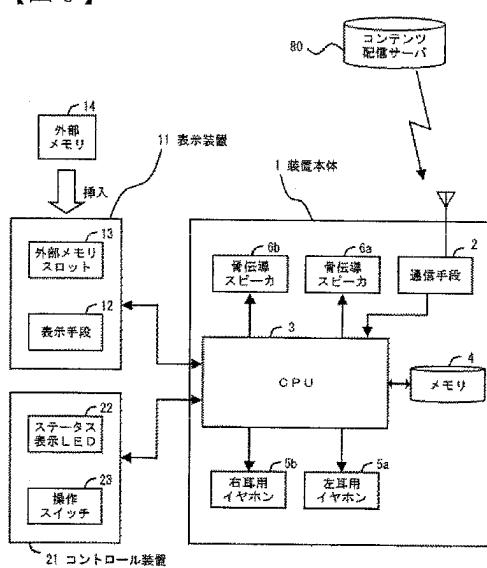
(a)正面図



(b)右側面図

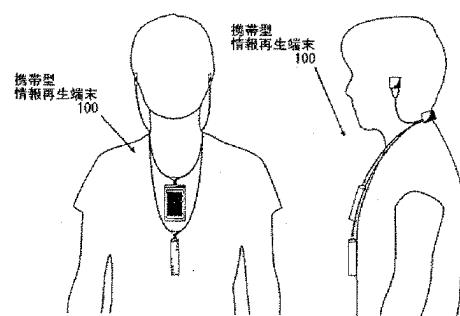


【図5】

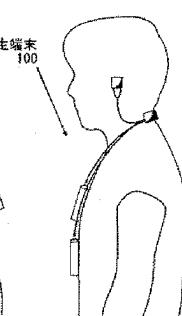


【図6】

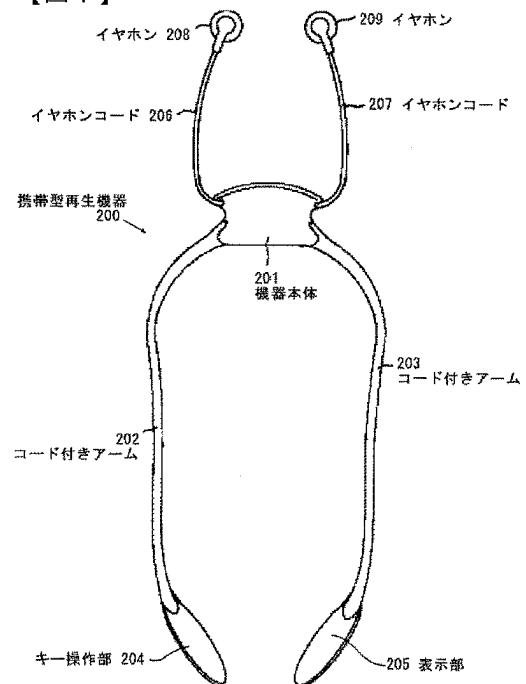
(a)正面図



(b)右側面図



【図7】



フロントページの続き

F ターム(参考) SC053 FA27 GB11 HA22 HA24 HA25 HA29 JA01 KA01 KA24 LA11
LA14
5D005 BB00 BB09 BB11
5D017 AB11